



南大隅町町章

町民と行政のかけはし  
南大隅町

# みんなの議会



佐多岬の御崎神社の妹神が、年に一度、郡の近津宮神社の姉神に会いに行くという『御崎祭り』が2月16日から17日に行われました。

## 12月定例会まで

- |                      |      |
|----------------------|------|
| ●12月定例会の主な議決内容……………  | 2～3  |
| ●今年の抱負……………          | 3～4  |
| ●6議員が一般質問……………       | 5～11 |
| ●みなさんからの陳情処理状況等…………… | 12   |
| ●傍聴者から……………          | 12   |

●発行●  
南大隅町議会

●編集●  
議会だより編集委員会  
〒893-2501  
鹿児島県肝属郡南大隅町根占川北226  
電話 0994-24-3111  
(内線332番)

# 第11号

平成20年2月号

12月定例会は11日から20日までの10日間の会期で開かれ、平成18年度各会計歳入歳出決算認定9件や平成19年度各会計補正予算及び条例改正等の議案24件、発議1件について審議され、原案どおり可決されました。

### 平成19年度 補正予算（12月）

| 会 計 区 分                 | 補 正 額     | 補正後の総額      | 主 な 補 正 内 容                     |
|-------------------------|-----------|-------------|---------------------------------|
| 一 般 会 計<br>(補正第7号)      | 376,662千円 | 7,709,608千円 | ・ 減債基金繰入金及び公有林施業転換資金借換債 等       |
| 一 般 会 計<br>(補正第8号)      | 2,998千円   | 7,712,606千円 | ・ 町職員給与改定に伴う人件費 等               |
| 国 保 特 会<br>(補正第3号)      | 47,016千円  | 1,759,565千円 | ・ 療養給付費及び療養費並びに高額療養費 等          |
| 簡易水道特会<br>(補正第5号)       | 17,818千円  | 307,255千円   | ・ 簡易水道事業債繰上げ償還及び漏水中央管理システム修理費 等 |
| 簡易水道特会<br>(補正第6号)       | 30千円      | 307,285千円   | ・ 扶養手当                          |
| 診 療 所 特 会<br>(補正第2号)    | 1,592千円   | 73,492千円    | ・ 前年度繰越金、備品購入費及び共同アンテナ回収負担金 等   |
| 診 療 所 特 会<br>(補正第3号)    | 30千円      | 73,522千円    | ・ 人件費 等                         |
| 老 保 特 会<br>(補正第2号)      | 87,652千円  | 2,219,896千円 | ・ 医療給付費の増額に伴う国庫負担金や一般会計繰入金の増額 等 |
| 介護(保険事業勘定)<br>特会(補正第2号) | 38千円      | 1,216,769千円 | ・ 人件費 等                         |

## 12月議会で議決した主な議案内容

### 平成18年度決算認定

▼平成18年度の決算認定については、9月定例会において、決算審査特別委員会に付託し、閉会中の継続審査としていましたが、今定例会において、委員長より審査の経過及び結果について報告がなされ、一般会計・特別会計の9会計決算について、全て認定しました。



根占社会福祉協議会にて現地調査

## 条例・規約関係等

▼政治倫理の確立のための南大隅町長の資産等の公開に関する条例及び南大隅町情報公開条例の一部改正について

▼国民健康保険税条例の一部改正について

【老齢等年金給付の支払いを受けている65歳以上の被保険者を対象に、国民健康保険税を特別徴収の方法により徴収する】

▼町営住宅条例の一部改正について

▼町立保育所条例の廃止について

【町立はまゆう保育所を社会福祉法人ひかり福祉会に民間移管するもの】

▼町道の路線廃止及び認定について

▼字の区域変更について  
(K A M大隅南部地区第2換地区・第3換地区・第

## 5換地区

▼町職員の給与に関する条例の一部改正について

【初任給や扶養手当の引き上げ等、民間給与との格差を是正するもの】

## 一部事務組合規約関係

▼鹿児島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び鹿児島県市町村総合事務組合規約の変更について

【大根田衛生管理組合及び肝属東部清掃組合を脱退させ、肝属地区一般廃棄物処理組合を加える】

▼鹿児島県市町村総合事務組合の財産処分について

▼鹿児島県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について  
【合併により、屋久島町・南九州市の新設に伴うもの】

▼大根田衛生管理組合の解散について

▼大根田衛生管理組合の解散に伴う財産処分について  
【肝属地区一般廃棄物処理組合に帰属】

▼肝属地区一般廃棄物処理組合が共同処理する事務の変更及び肝属地区一般廃棄物処理組合規約の変更について

## 発議

▼地方交付税の復元・地方税財源の拡充強化及び道路特定財源の暫定税率堅持並びに一般財源化の阻止に関する要望書(案)について

※要望書については、政府関係者へ提出することによって決定しました。

委員会の閉会中の継続審査並びに調査申し出について

## ※総務委員会

・公営・町営住宅等調査について

## ※文教厚生委員会

・学校等調査(根占地区)について

・佐多高齢者温泉センターの継続運営について【継続審査】

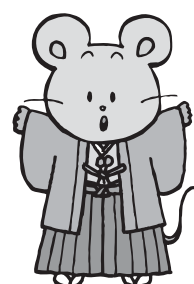
## ※経済建設委員会

・漁港等管理状況調査について

## ※議会運営委員会

・次期議会の会期日程等の議会運営に関する事項及び議長の諮問に関する事項について

2008年抱負



議長 大村 明雄



議会一丸となって、引き続き行財政改革を推進し、本町にとって明るい展望が開けるよう鋭意努力します。

副議長 宇野 仁一



住民の代弁者、町政への提言者としての自覚と実行!



日高 孝壽

『精励恪勤』の誠心で住民の心を大切に努力します。



文教厚生委員長 牧 勝

減私奉公  
私利、私欲を捨て、行財政改革を推進し、町民の代弁者として、身を粉にして、議会活動を展開して参ります。



経済建設委員長 川原 拓郎

『意思伝心』  
町民の生活向上、住み良い町づくり、我が町づくりは、自らの行動で！



総務委員長 大久保孝司

総務・議会運営・行財政改革委員会の委員長としての責務に熱意を持って取り組みます。



持留 秋男

厳しい財政の中、町民の為に『誠心誠意』努力致します。



愛甲貞二郎

町民の皆様方が汗し、苦労されて納められた税金が、無駄なく町のため、町民皆様方のため、役立っていきう見守っていただきます。



竹之内勝男

初心を忘れる事なく、知恵を出し、楽しい、元気の出る町づくりに努めます。



大久保弘行

人材育成で『限界集落』に活力を！



前田 信親

民意を常とし現状を直視しながら信念をもって活動します。



新坂日出男

無駄を省き、財政の建て直しに努め、活気のある、心豊かで住み良い町づくりを目指します。



平瀬 亮二

平成20年度も、財政的に厳しいものがあります。皆さんと共に頑張りましょう。



松元 勇治

『地域再生』活性化策を、前向き、意欲的に探ります。



中村 雅之

凡事徹底  
一つ一つの気づきを大切に、小さな努力をコツコツ重ね、喜びに満ちた町づくりに貢献したい！



枝迫勝太郎

『政清人和』  
清潔で開かれた町政を目指し、町民の代弁者に徹します。



平原 熊次

『初心を忘れず・・・住民を忘れず』  
町民の代弁者として頑張ります。



打越 道行

『初志貫徹』  
町民皆様の生きがいづくり、そして、所得向上のために頑張る所存であります。

## 一般質問

12月議会では、6議員より一般質問がありました。その要旨は次のとおりです。



持留秋男 議員

### 災害復旧見込みについて

問① 県道・町道の通行止め及び片側通行止めは何箇所か。又完全に通行できる見通しはいつ頃か。

答① 集中豪雨及び台風襲来により、国・県道、町道に甚大な被害を受けましたが、現在、災害査定も終わりが、復旧に向けて鋭意努力

しているところですが、まず、国道・県道については、通行止め箇所が1箇所、片側通行箇所が10箇所、19年度末をもって完成予定です。次に、町道については、通行止め箇所が13箇所、橋梁1箇所を含みますが、12箇所については、19年度末で完成予定です。橋梁1箇所については、事業費が大きいので、工期的に19年度末の完成は無理と考えています。今後、早期完成に向けて、努力していきます。

問② 今回の災害で、農地・農業用施設及び河川等の復旧は、水田作付け等には完全に間に合うか。

答② 農地災害36件、施設災害36件で合計72件あります。農地災害については、早い段階で入札し早期水稲に間に合うようにしたいと考えていますが、工事量の

大きい箇所、並びにKAM事業（中山間地域総合整備事業）で造成した箇所、また、河川災害については、工期的に早期水稲の作付けに間に合わないのではと考えていますので、農家への周知徹底を図り、20年度に限り普通水稲への作付けをお願いしていきたいと思っています。



佐多地区（上之園）

### 災害対策について

問① 19年度農地災害・農業用施設災害で、一部負担金又高齢者等の理由で同意できなかった場所は、今後、2次災害はないのか。又、放棄された面積はどの位か。これらの対策について、今後どのように考えているか。

答① 一部負担金また高齢者等の理由で同意できなかった箇所は7箇所です。また、他の省庁絡みで復旧できなかった箇所が島泊と阿保の2箇所と、採択条項（40万円以下）を満たさなかった箇所が西方・大泊地区の2箇所あります。2次災害ということについては、無いとは言えないと思います。また、放棄された面積については、島泊と西方の2箇所、40アール程度です。今後の対応策としては、小規模災害復旧事業等の斡旋を行い、早急に耕作できるように努めていきたいと思っています。

### 畜産振興について

問① 今回、全国共進会で全国第2位と有名になった優れた系統雌牛（しらき系）を、希少価値の高い南大隅牛として、今後どのような保留対策を考えているか。

答① 近年、我が国では、脂肪交雑など肉質に優れた人気の特定種雄牛に利用が集中し、遺伝的多様性の中で近親交配、繁殖障害、近交退化など、形質の喪失が懸念され、和牛の未来永ごうな生産を行う上で大きな問題となっています。そうした中で、今回の希少雌牛系統群の整備が全国的にも大きな関心を寄せています。町としては、優良牛保留牛助成または肉用牛基金制度を活用し、しらき系産子は元より、優良子牛の保留、増頭を推進し、全国和牛登録協会、県・郡支部等と協議しながら、系統の再構築を目指し、本町畜産の振興に取り組んでいきたいと思

問① 町民運動会の開会式に於いて、若い選手がバタ

### 町民の健康度について



枝迫勝太郎 議員



昨年10月の全国和牛能力共進会で第2位となった佐多地区 東山崎孝大さんのしらきひめ2号

います。

バタと数名倒れた状況を目の当たりにして、町民の特に若年層の健康度について町長として如何に感じ、今後どのような対策を図るか伺う。

答① 開会式で小・中学生8名が気分を悪くし、退場するという非常に残念な事態でしたが、子供たちは、大会に参加する喜びや不安のため、睡眠不足や食欲不振となり、本番での緊張感等から体調不良に至ったものと推測するところです。本年度の体力・運動能力の調査結果では、体格的には全国的に少し劣っている感じですが、運動能力については、持久的なものは全国平均を上回っています。全国平均を下回って、特に云々ということはありますが、今回の事を教訓に、学校やスポーツ少年団、体育協会等と協力し、町民の体力作りについても、更に積極的に推進していきたいと考えます。

問② 健康づくりに、三大要素の「運動」を、今後どのように啓発していくか。

答② 町民が気軽に参加できるスポーツの普及に取り組んでいきたいと考えますが、特に、グラウンドゴルフ等は町内の多くの地域で行われ、健康作りに大きく役立っています。本年度は、県総合体育センターの事業で『健やかいきいきスポーツ体験事業』を実施し、誰でも簡単にできるニュースポーツに親子110名が参加し、汗を流したところ

です。今後、このニュースポーツも普及していきたいと思っています。また、ジョギングやウォーキングの愛好者を多く見受けまので、コースの開発も大事ではないかと思えます。これから『運動』の



啓発については、郷土の素晴らしい自然を取り入れた運動も考慮し、皆が楽しめる運動を基本とした生涯スポーツの推進を図ってきたいと考えます。

### 本町特目の伝統工芸技術の保存・発掘について

問① 技能者の高齢化等により生産が途絶えているが、甘酒こうじ作り技術の保存について如何に考えるか。

答① 甘酒こうじ作りの技術保存については、『甘酒こうじ作り名人』を作っておく事は、生涯学習の立場から大事かと思いますが、公的な場で保存・継承というところまでは至らないのではと思います。ただ、根占では古くから4家の皆さんが、専門的にこうじ作りをされ、今も残っていますので、いろいろな関係機関とも相談をし、このような食の伝統文化は是非残していきたいと思えます。

問② ボンチカ、学名は葵科のムクゲと言いますが、この洗剤石鹸作りやネッピール温泉を利用の渋柿の渋ぬき等の発掘について伺う。

答② 化学製品が出回る今日、ボンチカの洗剤について知る人は少ないと思います。地球環境に大きな関心が寄せられ、環境に優しい生活推進の取り組みがなされ、化学製品の使用を避けて自然のものを、また、昔の生活に学ぼうとの考え方

が広まりつつある中で、『ボンチカ洗剤作り』は『廃油石鹸作り』等と同じように、安心安全な環境作りの一環として取り上げる事も考えられます。一方、このボンチカ洗剤の効用や害についても、更に研究を重ねることが必要かと考えています。

**問③** 伝統工芸技術を保存・発掘するため、かつての「ねじめ生き活き助成事業」如き制度をつくり、これらに適用する考えはないか。

**答③** 合併前は、研修事業と特産品開発事業を対象とし、地域活性化を図ってきましたが、合併と同時に事業の見直しの中で『ねじめ生き活き助成事業』は廃止された経緯があります。地域やグループでの取り組み体制が整い、かつ事業ベースになるようならば、国の地域雇用創造推進事業の対象となり得るので、この事業での活用を推進を考えて

いきたいと思っています。例として、現在、佐多の方で製塩を始められたグループがありますが、ここを今、申請しているところです。



平原熊次 議員

### 行財政改革について

**問①** 実質公債比率が県本土において、ワースト1位である本町の現状をどのように考えているか。

**答①** 平成19年度に発表された実質公債費比率22・2%については、県全体でワースト3位、県本土ではワースト1位です。更に、平成20年度公表分については、前3ヶ年平均値を使用

することから、23・1%程度まで上昇するものと試算しています。ただ、平成18年度をピークにして、今後は畜産基地建設事業の元利償還が平成20年度には終わり、数字としては下がっていきますので、繰上げ償還等も行い、健全な財政運営に移行していくものと判断しているところです。町としては、平成18年度に公債費負担適正化計画を策定し、地方債の繰上げ償還及び起債発行額の抑制、経常経費の削減等を図っているところですが、今後も、地方交付税の伸びが期待できない国の状況を考えると、依然として厳しい財政状況が予測されますので、各種基金を有効に活用しつつ、簡素で効率的な行政システムの実現に向け努力し、早期に類似団体の予算規模まで縮減を図っていくことが必要であると考えています。

**問①—2** このような財政難の状況下において、町長の給料カットというのは考

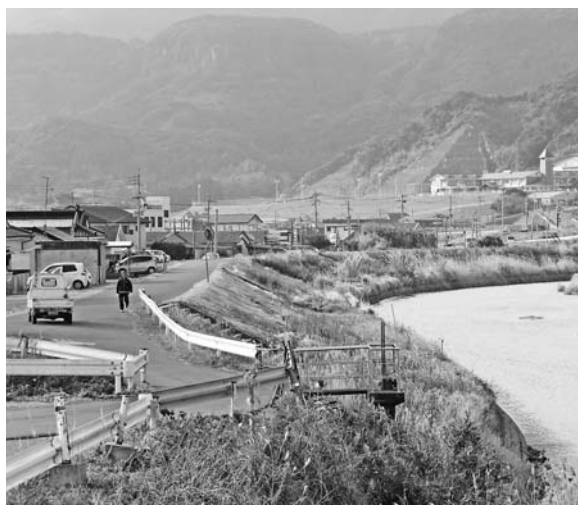
えていないか。

**答①—2** 給料については、悪い事をした時は下げます。また、報酬審議会において慎重に審議されることでもありますが、現在のところ考えておりません。

### 通学路の安全対策について

**問①** 雄川沿いの通学路に、危険箇所がみられるが、道路改修や防犯灯の設置など対策は考えていないか。

**答①** 防犯灯の設置については、集落と集落の間は町が設置し、集落内は通学路については自治会にお願いし、設置費の一部を助成している状況です。次に、雄川沿いの道路改修については、雄川左岸の269号線雄川橋から、町道下之角線約50メートルが未改修となっており、通行に支障をきたしているところですが、大隅地域振興局河川港湾課によると、その区間については平成20年度の事業として改修計画されているようですので、後しばらくご理解頂きたいということです。



雄川沿い町道

尚、ご指摘の場所はスクールゾーンに指定していませんので、学校が指定している道路を渡るよう指導を徹底していかなければいけないと思います。雄川沿いの町道を生徒

が通学しているのは事実でありますので、その安全対策に万全を期すことは当然なこと、夜間の事等についても、自治会と話をし、防犯灯を設置されるような方向に話を進めているところです。



宇野仁一 議員

### 高齢者の生活ニーズについて

問① 本町高齢者の生活ニーズをどの様に把握しているか。

答① 3年毎に改定される高齢者保健福祉計画などの事前調査として、高齢者実態調査を行っています、17年度の調査では、食生活

への関心の高さが見受けられました。年々、社会状況において生活ニーズの違いや変化はありますので、様々なアンケートを元に見直していく事が大事かと考えています。

問② ニーズに対し、どのような政策で対応されているか。

答② ニーズも広範囲であり健康、保険、年金、そして交流というものが大切だと思っています。生活スタイルには格差がありますが、高齢者が高齢者を見ていく限界集落の課題に対して、地域や組織・団体が手を差し伸べていくべきだと考えます。いろいろな組織を使いますが、行政として如何に取り組んでいくか検討・研究していきます。



ねじめ・つじみ両保育園児らの一生懸命で可愛いらしい踊りが披露され、楽しい交流会となりました。(昨年12月、根占社会福祉協議会にて)



### 来年度予算の編成目標について

問① 基本的考えと重点事業を伺う。

答① 平成20年度予算編成にあたっては、厳しい財政状況下ですが、総合振興計画に掲げた『歴史ある文化と豊かな自然を活かし、魅力ある人材の育成と産業の活性化を図り、住む人、訪れる人が心の豊かさ、幸せを実感できる、安心安全な町』を目指し、事業の推進を図りたいと思います。事業の柱については、災害に強い町づくりとしてのライフラインの整備、産業基盤の中心になる農林漁業の振興、教育環境の整備、また、高齢化社会が急速に進む中で心豊かな長寿社会へ向けて、事業の中身を充実させていきたいと思っています。

### 教育格差について

問① 全国学力診断の結果、各学校間の学力格差、また学校内の学力格差はないか。

答① この調査は、小学校6年生と中学校3年生を対象に、国語と算数・数学の学力調査と学習状況調査の二つで実施されました。まず、学校間の格差については、小学校・中学校ともに平均値の差は若干あります。教科及び基礎的な問題と応用的な問題の違いによっても、平均値は異なっています。次に、学校内の格差については、どの学校においても個人差はあります。その差は、基礎的な知識を問う問題については小さく、応用力を問う問題についてはやや開きが見られます。

問② 劣っている点を補い、優っている点を更に伸ばすよう改善に向けた取り組みを伺う。

答② 教育委員会としては、各学校からの調査報告を分析し、指導の重点事項を明らかにしたところですが、更なる授業の充実を図り、児童・生徒一人ひとりに目を向け、今以上に学力が向上するような教育の推進に努めていきたいと思っています。

### 職員体制について

問① 支所職員体制の来年度計画を伺う。

答① 平成19年度の機構改革で支所の課の統廃合を行い、支所長を管理者として、6課2委員会に、82名から44名の職員体制となっています。平成20年度は、行政改革大綱及び集中改革プランを基本に、一体的な機動力のある、支所職員体制を目指したいと思っています。課や職員数については、今のところ、現状のままでいきたいと思っていますが、平成22年度の本庁方式を見据え、支所の在り方について

は、行政改革を進める中で、更に検討していきたいと思っています。

### 情報回線改善について

問① 現ISDN回線から光回線への転換を図り、末端の情報量確保とスピード化は図られないか。

答① 根占・辺田・佐多・大泊・辺塚の5交換局の内、佐多、根占局はADSL回線で、残り3局がISDN回線です。光回線となると、対象個数が交換局ごとで7、000回線と膨大な条件があり本町では不可能な状態です。よってISDN回線よりも早いADSL回線の敷設を検討しているところです。1月初旬から各局の全世帯にアンケートを実施する計画です。この事業も1交換局あたり200回線の加入条件となっていますので、アンケート結果を踏まえ、NTTと交渉する計画です。

### 携帯電話アンテナ誘致について

問① 町内の不通話地域解消の為、アンテナ誘致の見通しなど、改善の取り組みを伺う。

答① 町内全域を調査したところ、佐多地区内に不通話地域が多く見受けられ、早速、NTTドコモとKDDIに要望書を提出しました。大規模畜産団地でもある大中尾地区からは、以前から強い要望がありました。9月21日付けで要望し、他の地域も10月18日付けで要望しています。今回の災害等を踏まえ、通信・情報の不通は最大の課題です。で、今後も、機会あるごとに強く要望し、早期の不通話地域解消を図る所存です。



大久保孝司 議員

### 平成20年度予算について

問① 自主財源は、過年度と比較して、どのように予測しているか。

答① 平成19年度の一般会計当初予算総額が64億4、855万8千円で、予算に占める自主財源は、内11億8千万円、比率で18・3%です。ただ、この内3億5千万円は、財政調整基金を充当していますので、実質的な自主財源は、8億3千万円、12・9%です。現在、平成20年度予算の編成作業に入っていますが、自主財源の柱である町税については、町民税の税源移譲もあり、当初予算の比較では、5%程度の伸びが見込まれると思われます。ただ、法

人町民税については、景気の動向に左右されますので、予想が難しいですが、町税全体では、平成19年度現計予算並みの6億円程度を予測しています。自主財源総額でも、ほぼ前年並みの8億円前後推計しているところです。

問② 来年度も、過去2カ年同様に、各種団体補助金の削減を実施する考えか。

答② 基本的には、平成19年度当初予算の一般財源総額からどうしても削減できない人件費・負担金・償還金等を差し引いた額を算出し、その額の5%を削減する方法により、各課へ配分を行うことにしています。当然、削減対象に、各種団体補助金も入っていますが、運営の中身によっては、増額しなければならない補助金もあると思います。一方で、削減できる補助金もあると思いますので、活動内容、会員数、繰越金の状況等を十分に調査の上、相

乗効果等を勘案しながら予算額を決定していきたいと考えています。

### 行革の取り組みについて

問① 現在進めている行革を、より一層推進するため、行革担当職員を選任されたが、今後、行革の取り組みとして、どのような施策を講じていくのか。

答① 10月の人事異動で、専任の担当補佐を置き、その後、職員16名で構成する職員部会を立ち上げ、現在、活動を進めているところですが、評価作業を今月中に取りまとめ、来年3月には一定の方向を示したいと考えています。なお『職員数等の調整を図り、合併5年後から本庁方式を目指す』という合併時の合意事項を踏まえ、限られた財源の有効活用を図ることを目的とした『南大隅町行政評価実施要綱』を制定しましたので、この要綱に基づき、施

設を含む全ての事務事業を対象とした『事業効果・必要性』等の評価を行い、今後の、予算編成、事務事業執行、組織再編に活用していきたいと思っています。

問② 行革特別委員会からの提言としての『行革推進室の設置』は考えられないか。

答② ご指摘の行革推進室の必要性は充分認めますが、現在、本庁方式に向けた過渡期であり、支所にも一定の職員の配置は不可欠であります。また、事業課を中心に7月の災害以降、恒常的な残業が続き、職員の実人員が減少していく中で、育児休暇等の補充もできない状況です。現在、専任の担当補佐を中心に、16名で構成する職員部会で行政評価の全体的な見直しを行っていますので、これらの結果を踏まえ、行革推進室の設置及び陣容の強化について検討していきたいと考えます。

### 学校教育について

問① 本年4月に実施された小・中学校学力テストの調査結果が公表され、鹿児島県は、算数・数学が全国平均を下回っている。また、全国的には都道府県の学力差がないことや、学習の基礎知識・技能は身に付けているが、それを活用する力



複式学級補助教員として指導される川上先生（登尾小学校）

に課題があると報告されたが、本町の児童・生徒の結果はどうだったか。また、課題を分析されたか伺う。

答① 小学校の国語・算数については、基礎的知識、活用力とも、町平均で概ね全国平均と同程度です。中学校の国語と数学については、基礎的知識、活用力とも、町平均で全国平均を数ポイント上回っています。

す。課題として国語・算数・数学とも活用する力を更なる育成する必要があると考えます。具体的な手立てとしては、授業や家庭学習において、様々な出題傾向の問題に触れる機会を作るよう学校へ指

導を行ったところです。更なる、教師の資質の向上や児童生徒の学力の向上に向けて取り組みを一層充実させていく所存です。

問② 複式学級に指導補助教員を配置し、行き届いた授業、学習意欲の向上が図られているが、その成果と今後の方策を伺う。

答② 平成17年度から事業を開始し、現在4名を配置しています。成果としては、4月の全国学力・学習状況調査の中で、複式学級補助教員が配置されている学校の多くが国語・算数の平均通過率が、全国平均を上回っています。また、算数の勉強が好きと答えた児童の割合も全国平均を上回っています。これより、望ましい結果の一因になっていると考えています。児童からも『分らないところも時間をかけて丁寧に教えてもらえる』といった感想も出ています。更に、校長からは『個別指導が充実し、基礎学力の定着にも繋がっている』『複式補助教員が

ベテランのため、若手教員の良い手本となっている』等の感想が聞かれます。現在、複式補助教員を町内の教職経験者に当たっていますが、なかなか見当たらない現状です。複式補助教員を確保することは容易なことではありませんが、児童一人ひとりに極め細かな指導を行うために、今後も、事業を継続していきたいと考えます。



牧 勝 議員

### 大浜漁港周辺整備について

問① 廃船が放置され環境的にも良くない状況である。廃船の処理について、行政

として指導すべきと思われるが所見を伺う。また、町内の廃船調査を実施しているか伺う。



大浜漁港

答① ご指摘のとおり大浜漁港は、第1種漁港でその管理は町で行うようになっています。現在、漁港区域内に3隻の老朽化した船舶があり、所有者については確認しています。その内の1隻は、平成16年4月に登

録を抹消しており平成17年9月に、撤去するように指導していますが、そのまま放置されている状況です。で、漁業協同組合を通じて指導していきたいと考えています。残り2隻のうち1隻については、移動処分するとの回答を得ていますが、後の1隻については、現在も漁船登録が残っておりませんが、所有者が死亡した為、家族は売却を望んでいる訳

ですが、買い手が無いとのことであり、今後処分を指導していきたいと考えています。漁船の処分には、船舶トン数の1トン当たり8万円程度が必要であるそうです。漁港の管理、とりわけ安全・美化についても関係漁業組合と連携をとり、指導していく所存です。廃船調査については、大浜地区は調査済みですが、他の地区はまだ実施していません。

ん。今後実施していきたいと考えています。

一般質問については、要旨のみ掲載しています。会議の内容については、閲覧もできます。

### 閉会中の委員会活動



佐多小学校にて

▼文教厚生委員会  
10月26日、佐多地区小学校にて学校等調査を行いました。



水俣市役所にて

▼経済建設委員会  
11月12日、13日、熊本県の芦北町役場と水俣市役所にて観光等交流人口増調査を行いました。



宮田小学校にて

▼総務委員会  
10月11日、町内の避難所等調査を行いました。

## みなさんからの 陳情処理状況

南大隅町佐多高齢者温泉センターの継続運営について

(佐多自治会代表

浮津節男氏 他6名)

### 【要旨】

当施設は平成8年に建設され、町民の健康増進や福祉の向上、地区住民の交流の場として、非常に役立ってきました。もし、廃止されまると、温泉利用者は元より、商店街の活性化にも影響を及ぼすこととなり、佐多地区の過疎化がますます懸念されます。財源的にも大変厳しいことは存じますが、営業時間の短縮、送迎バスの工夫、町民への利用啓発など経費節減に努められ、是非、継続運営さ

れますよう陳情いたします。  
※文教厚生委員会付託  
【結果】 継続審査

## 傍聴者席から

根占横別府上地区むらづくり推進委員会

委員長 篠原豊茂さん



私たち横別府上地区むらづくり推進委員会では、会員十数名で十二月十一日開催の議会定例会を傍聴することになりました。

一番の関心事項は、『町の財政』と『災害復旧の見通し』等についてでありました。

議場に着くまでは、『今日の議事内容はどのようなものだろうか』と考えながら向かいましたが、傍聴者

控え室に入り、一般質問の通告一覧表を見ますと、私たちが聞きたい、知りたい事項の質問が全て出揃っておりました。

私たちの代弁者である議員の方々が、当日は六名、一般質問に立たれ、これに対して町当局からも分かり易く答弁がなされておりました。関心事項の一つでありました災害復旧についても、熱心な議論がなされましたが、今年も早期水稲の作付けが出来ます事を願っております。

今後とも議員、執行部の皆様が一丸となって『住み良い町づくり』のためにご尽力頂くことを期待いたします。

根占地区大野自治会

今福義光さん



私たちは横別府大野自治会では、毎年恒例となってい

る十五夜に、午前中、造林地の草払いを行い、午後は自治会全員によるグラウンドゴルフ、昨年は天候不良のため中止、三時より敬老会、十五夜祭等のイベントを行っております。その飲み会の数人の輪の中の話で、議会傍聴を拝聴した事がないと言う人達がほとんどでした。それでは、村づくりに勉強会の一環として傍聴しよう自治会の皆さんに呼び掛け、議長さんに相談致しましたところ、快くお引き受け頂き、十二月議会の傍聴をさせて頂きました。

当日は、六名の方から十七項目の質問がなされました。災害対策、畜産振興、町民の健康度、高齢者の生活ニーズ等について質疑応答がなされ、執行部側、議会側、それぞれ真剣に対応される事に感銘致しました。私たちにとつても、今後の村おこしに意義のある勉強会となりました。有難うございました。皆様方も健康に充分留意されまして、南大隅町発展の為に頑張ってくださいませ。

## お知らせ

- 1 3月の議会定例会は本庁議場で開催します。  
(日程は、直前に、町内放送します。)
- 2 6月に開催していた佐多支所での議会定例会は12月に変更になります。

## 議会を傍聴してみませんか！

議会は、年に4回(3月・6月・9月・12月)の定例会と必要に応じて開かれる臨時議会があります。  
傍聴にはお気軽にお越しください。  
日程等詳しい事は、議会事務局(TEL 24-3111)までお問い合わせください。